

SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS

個人投資家向け会社説明会

2026/5/20

スペースシャワーSKIYAKIホールディングス株式会社
東証スタンダード：4838

SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS

1. 会社概要
2. エグゼクティブサマリー
3. 2026年3月期 通期連結業績
4. 2027年3月期 業績予想
5. 中期経営計画の定量目標改定について
6. 事業トピックス

1. 会社概要

会社名

スペースシャワーSKIYAKIホールディングス株式会社

本社所在地

東京都渋谷区道玄坂2-25-12 道玄坂通

設立

1996年12月24日

資本金

100百万円

決算期

3月

連結従業員数

351名

役員構成

代表取締役社長 林 吉人

取締役副社長 小久保 知洋

取締役副社長 名取 達利

取締役 北島 直樹

取締役 酒井 真也

取締役 廣田 政智

取締役（監査等委員）長谷川 裕朗

社外取締役（監査等委員）井上 昌治

社外取締役（監査等委員）丸山 聡

主な連結子会社

株式会社スペースシャワーネットワーク インフィニア株式会社 株式会社SPACE SHOWER FUGA
株式会社SKIYAKI スペースシャワーエンタテインメントプロデュース株式会社

コンテンツ

主に「自社で企画プロデュースするオリジナルコンテンツをユーザーに提供」する事業



「SWEET LOVE SHOWER」等の主催イベントの企画運営
ライブハウス「WWW」「WWW X」の運営
アーティストのマネジメント業務
原盤・出版の創出、旧譜・IPの利活用及びエージェント業務
「スペースシャワーTV」の運営
「スペースシャワーオンデマンド」の運営



「あっとほおーむカフェ」の運営

ソリューション

主に「クライアントの課題解決のためにサービス提供」を行う事業



ファンクラブなどのプラットフォーム開発・提供
ファンクラブサイトの運営
グッズの企画制作やECサイトの運営



協賛広告の獲得や他社とのコンテンツの共同制作
音楽配信やパッケージを通じた楽曲等の流通
音楽ライブの映像収録やミュージックビデオの映像制作

SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS

エンタテインメント領域の総合カンパニー

コンテンツセグメント

ライブイベント主催

SPACE SHOWER®
SWEET
LOVE
SHOWER 2005
30th ANNIVERSARY

POP VOIRS

マネジメント・レーベル



SPACE SHOWER MUSIC

有料放送



SPACE SHOWER TV

メイドカフェ



at-home cafe

ソリューションセグメント

ファンクラブ・Eコマース

bitfan Pro bitfan

音楽配信



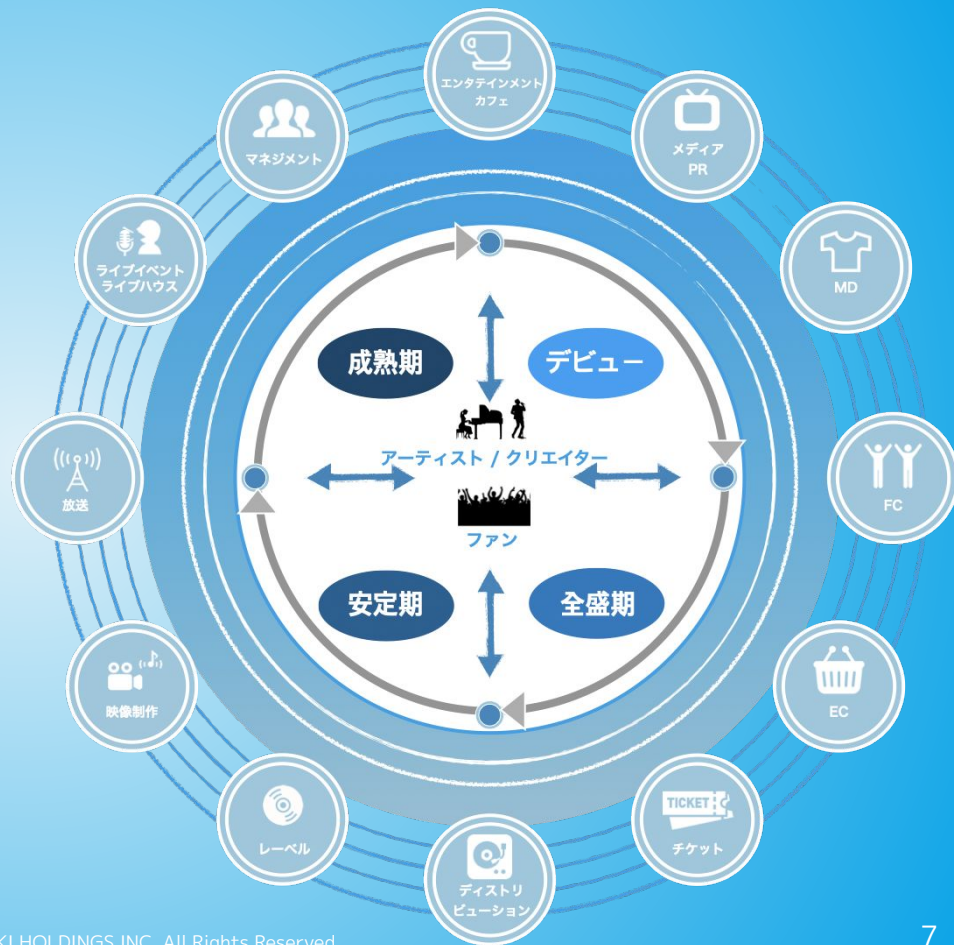
SPACE
SHOWER
FUGA

イベント・映像制作



SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS

当社グループでは、新人アーティストからベテランに至るまであらゆるキャリアステージのアーティストやクリエイターのみなさんと当社が保有するさまざまな機能を通して、事業活動を行っています



EMPOWER
ARTISTS & CREATORS,
ENRICH
FAN EXPERIENCE

Our Mission

我々が住むこの社会を持続可能なものにするために、文化や価値観の多様性を育むことが求められています。

音楽をはじめとしたエンタテインメント業界で活動する当社グループは、さまざまなバックグラウンドを持つアーティストやクリエイターたちと共に、豊穡な文脈をもった良質なコンテンツを提供し、ユーザーの心に感動を生み出すことで、人々の内面世界に彩りを与え、文化・芸術、そして社会の多様性の実現に貢献してまいります。

また、個人へのパワーシフトが進む社会の変化に対応して、幅広いジャンルで活躍するアーティストやクリエイターたちが、豊かにそして長くその活動を続けられるように、利便性の高いソリューションを360°で提供し、表現活動をする人たちの裾野を広げ、その価値を高めていくことが我々の社会的使命だと考えています。

2. エグゼクティブサマリー

売上高

5,431 百万円	4 Q実績	+4.2%	前年同四半期比
22,858 百万円	通期実績	+10.8%	前期比

営業利益

219 百万円	4 Q実績	+34.8%	前年同四半期比
1,957 百万円	通期実績	+123.0%	前期比

親会社株主に帰属する 当期純利益

151 百万円	4 Q実績	+2,047.2%	前年同四半期比
1,197 百万円	通期実績	+316.6%	前期比

EBITDA

379 百万円	4 Q実績	+16.8%	前年同四半期比
2,576 百万円	通期実績	+70.5%	前期比

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

2026年3月期通期業績予想と実績の差異



2026年3月期の実績については、年間を通じたコンテンツセグメントにおけるライブ事業・アーティスト事業の収益性向上に加えて、ソリューションセグメントにおけるプラットフォーム事業が4Qに収益を拡大した結果、2026年2月13日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正」を上回る形となった。これに伴い、1株当たり年間配当金についても、前回発表の24円に対して1円増加の25円を予定。

(単位：百万円)	2026年3月期 通期業績予想 (2026/2/13公表)	2026年3月期 通期実績	増減額	増減率	前期実績
売上高	22,000	22,858	+858	+3.9%	20,637
営業利益	1,900	1,957	+57	+3.0%	877
経常利益	1,940	2,004	+64	+3.3%	889
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,170	1,197	+27	+2.4%	287
1株当たり当期純利益	71円64銭	73円14銭	-	-	17円26銭
EBITDA	2,530	2,576	+46	+1.8%	1,511
1株当たり年間配当金	24円	25円	+1円	-	13円

前項の通り、今期業績は2026年2月13日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正」を上回る形となったため、1株当たり年間配当金についても、前回発表の24円に対して1円増加の25円を予定。自己株式の取得に関する進捗状況は以下の通り。

年間配当金

	中間	期末	合計
2024年3月期	-	10円	10円
2025年3月期	-	13円	13円
2026年3月期	-	25円	25円

自己株式取得進捗

	取得期間	株式数	取得価額総額
2025年11月13日公表	2025年12月1日～ 2026年11月30日	上限 200,000株	上限 200,000,000円
取得実績	2025年12月～ 2026年3月	87,800株 達成率 43.9%	69,079,900円 達成率 34.5%

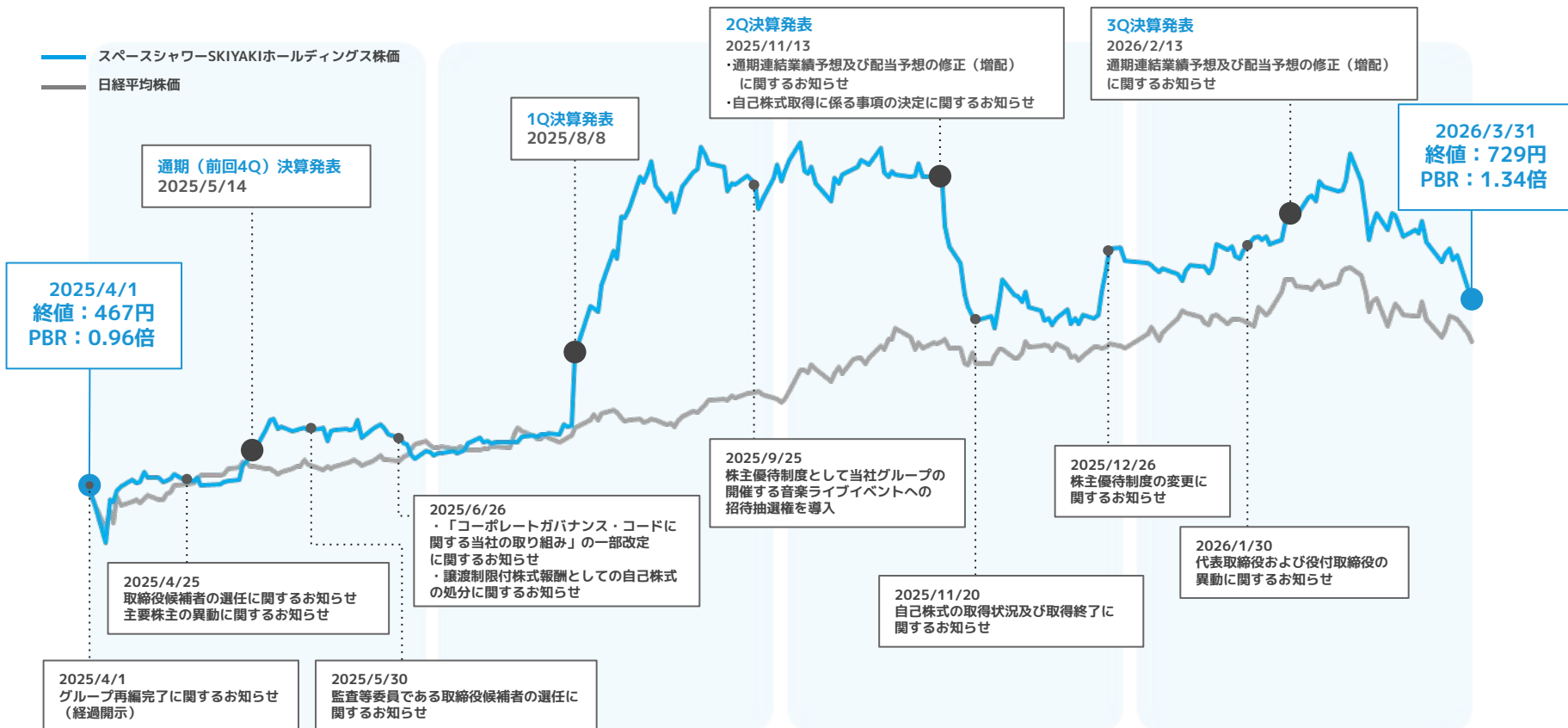
※中期経営計画期間中（2024年12月から2026年3月）

- ・累計取得株式数 : 483,900株
- ・累計取得価額 : 269,079,900円

株価の年間推移



全体的な市況として日経平均株価が上昇傾向にある中で、好業績が株価を牽引したことに加え、継続的な自己株式取得が株価を下支えし、年度末時点での株価（729円）は期初の株価（467円）を大きく上回る結果となった。なお、PBRは期初の0.96倍から1.34倍まで上昇し、1倍を上回る水準へと改善。



3. 2026年3月期 通期連結業績

2026年3月期業績サマリー



売上高は4Q会計期間で5,431百万円、通期で22,858百万円となり、前年比は会計期間で+4.2%、累計期間で+10.8%の増加となった。営業利益及び経常利益については、コンテンツセグメントにおけるライブ事業・アーティスト事業、ソリューションセグメントにおけるプラットフォーム事業の躍進により、4Q会計期間で219百万円及び212百万円、通期で1,957百万円及び2,004百万円となり、営業利益の前年比は会計期間で+34.8%、通期で+123.0%増加し、業績は大きく伸長した。

(単位：百万円)	2026年3月期 4Q会計期間 (2026年1月-2026年3月)					2026年3月期 通期 (2025年4月-2026年3月)		
	実績	前年同四半期 (前期4Q)		直前四半期 (当期3Q)		実績	前年同期 (前期)	
		実績	YoY	実績	QoQ		実績	YoY
売上高	5,431	5,209	+4.2%	5,522	▲1.7%	22,858	20,637	+10.8%
売上総利益	1,536	1,360	+12.9%	1,564	▲1.8%	6,815	5,468	+24.6%
営業利益	219	162	+34.8%	398	▲44.8%	1,957	877	+123.0%
経常利益	212	165	+28.3%	410	▲48.1%	2,004	889	+125.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	151	7	+2,047.2%	245	▲36.0%	1,197	287	+316.6%
EBITDA	379	324	+16.8%	555	▲31.8%	2,576	1,511	+70.5%

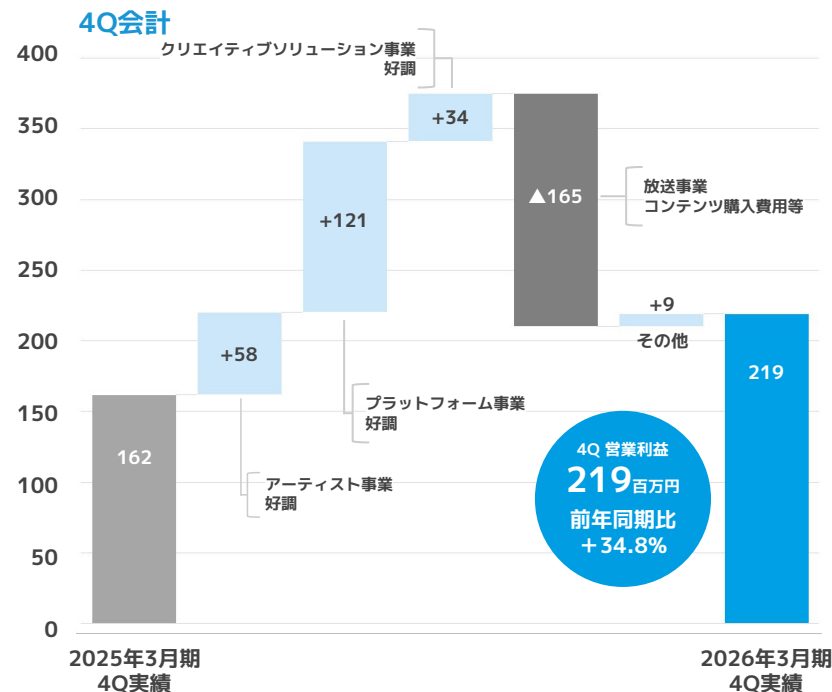
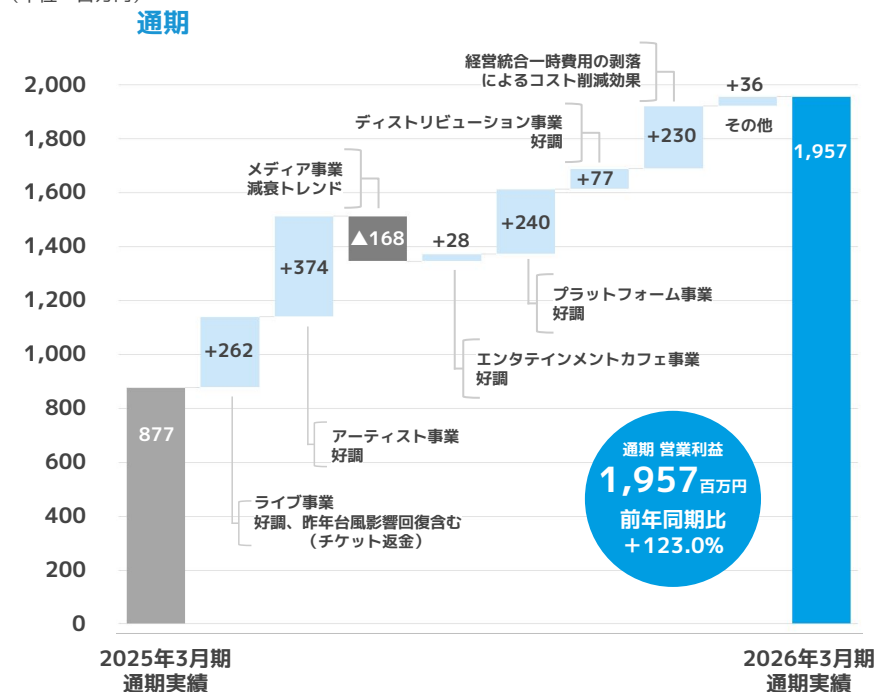
利益の増加要因



営業利益を通期で比較すると、コンテンツセグメントにおけるライブ事業（+262百万円）、アーティスト事業（+374百万円）の好調に加え、ソリューションセグメントにおけるプラットフォーム事業（+240百万円）、ディストリビューション事業（+77百万円）の好調、全社的な経営統合一時費用の剥落効果（+230百万円）もあり、前年同期比+123.0%増の1,957百万円となった。

また、会計期間の比較においては、アーティスト事業（+58百万円）、プラットフォーム事業（+121百万円）、クリエイティブソリューション事業（+34百万円）の好調が利益を牽引し、前年同期比+34.8%増の219百万円となった。

(単位：百万円)



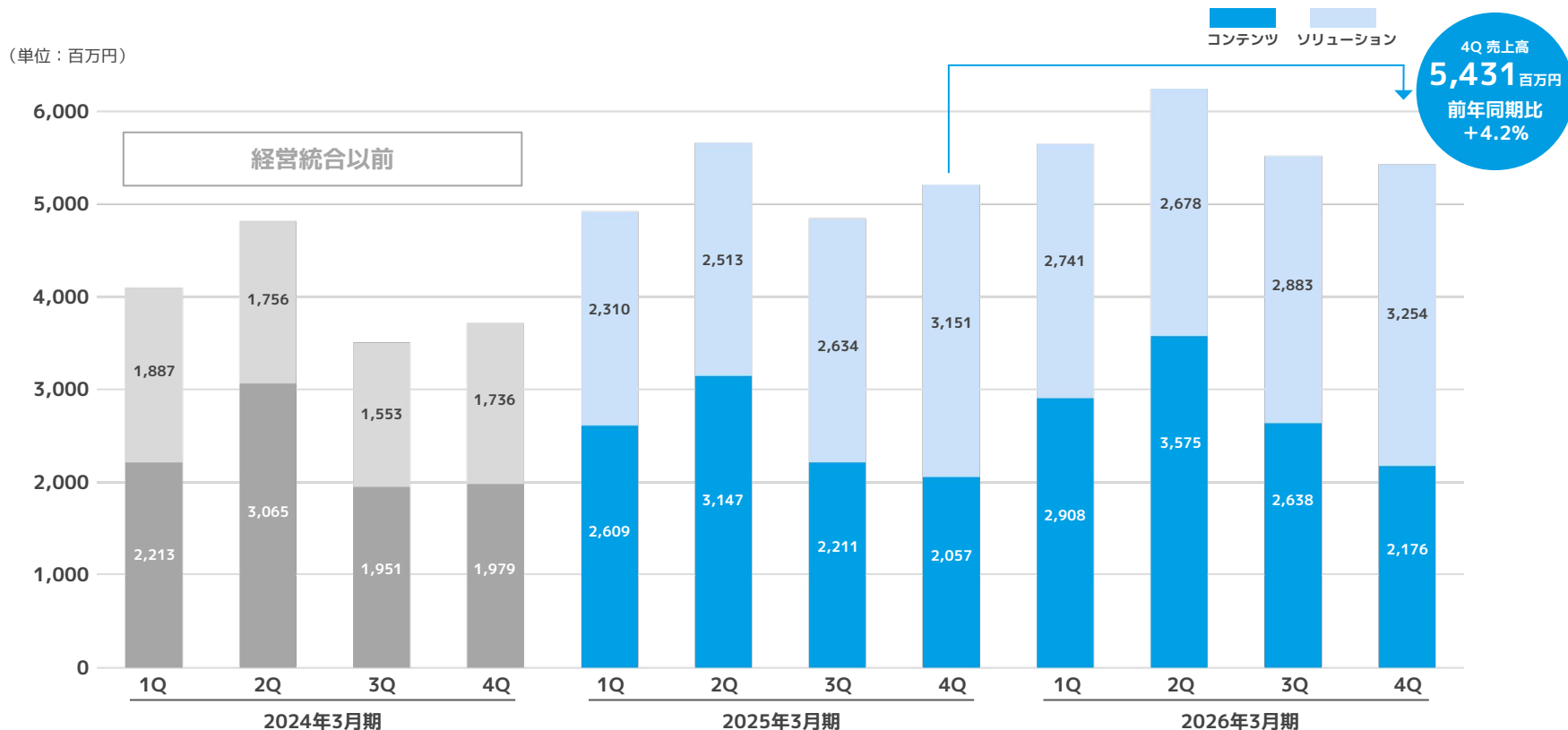
売上高の推移



セグメントごとの売上高の推移は以下の通り。

コンテンツ・ソリューションの各セグメントともに好調で、前年同期比+4.2%増加の5,431百万円となり、4Qにおける過去最高額を記録。

※2024年3月期のソリューションセグメントの売上高は、会計方針の変更に伴う遡及適用後の数値を記載。

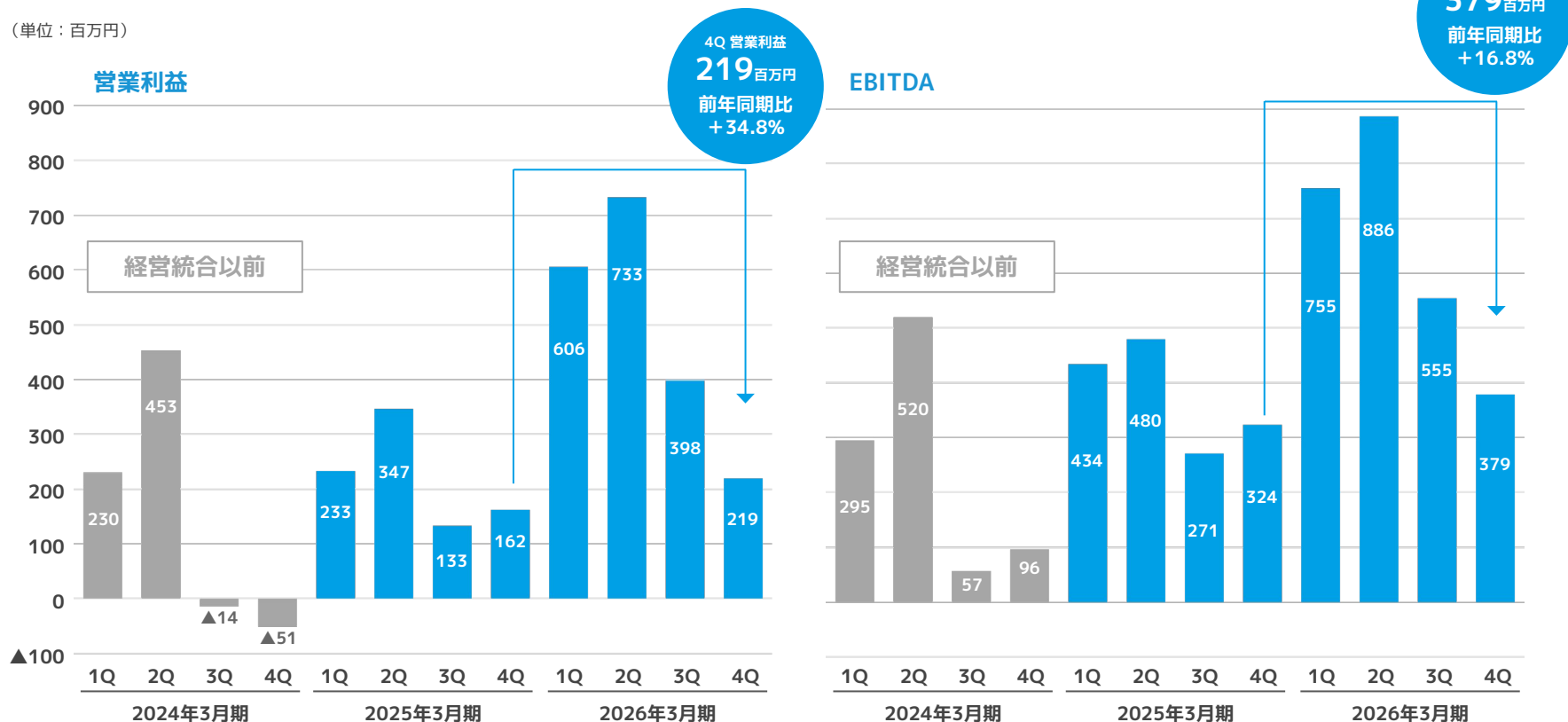


営業利益とEBITDAの推移

営業利益とEBITDAの推移は以下の通り。

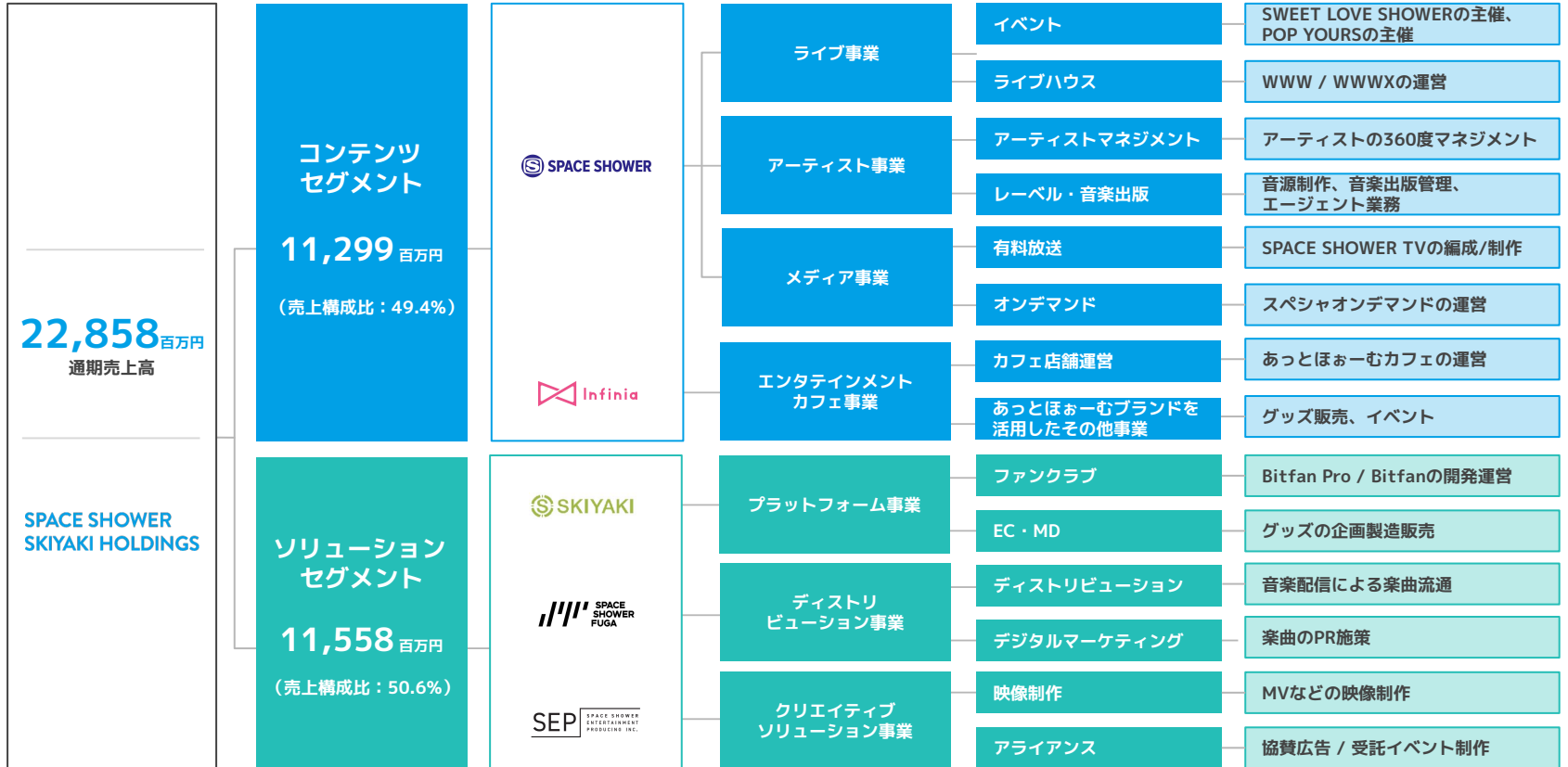
営業利益は前年同期比+34.8%増の219百万円、EBITDAは前年同期比+16.8%増の379百万円となった。

(単位：百万円)



セグメント区分と売上構成比

当グループは事業会社を「コンテンツセグメント」と「ソリューションセグメント」の2つに分類しており、各セグメントの売上高と関連する事業の詳細を記載した図は以下の通り。



※株式会社スペースシャワーネットワークの事業には、ソリューションセグメントにおけるディストリビューション事業の一部を含む。

セグメントごとの売上高、利益、EBITDA



HD傘下の各セグメントの売上高、利益、EBITDAは以下の通り。

売上高はライブ・コンテンツ事業、プラットフォーム事業、ディストリビューション事業が牽引。

※なお、各セグメントの合計値は連結修正後の数値。

コンテンツセグメント

(単位：百万円)		通期	前期	YoY
売上高	ライブ事業	3,063	2,603	+17.7%
	アーティスト事業	2,258	1,322	+70.8%
	メディア事業	2,309	2,787	△17.1%
	エンタテインメントカフェ事業	3,667	3,313	+10.7%
	合計	11,299	10,026	+12.7%
セグメント利益		1,298	757	+71.3%
セグメントEBITDA		1,592	1,007	+58.1%

ソリューションセグメント

(単位：百万円)		通期	前期	YoY
売上高	プラットフォーム事業	4,017	3,488	+15.2%
	ディストリビューション事業	4,925	4,757	+3.5%
	クリエイティブソリューション事業	2,615	2,365	+10.6%
	合計	8,304	7,458	+8.9%
	セグメント利益		660	121
セグメントEBITDA		985	505	+94.8%

主要グループ会社の売上高、営業利益、EBITDA



HD傘下の主要グループ会社の売上高、営業利益、EBITDAは以下の通り。

主要グループ会社においては、株式会社スペースシャワーネットワークと株式会社SKIYAKIが共に前年同期と比べて好調に推移。

※なお、各社の実績は連結消去前の単体数字。

(単位：百万円)	スペースシャワーネットワーク			SKIYAKI			インフィニア		
	通期	前期	YoY	通期	前期	YoY	通期	前期	YoY
売上高	11,323	11,421	▲0.9%	4,074	3,192	+27.6%	3,735	3,328	+12.2%
営業利益	975	205	+374.1%	617	376	+64.0%	318	290	+9.8%
EBITDA	1,137	419	+171.3%	661	413	+60.2%	437	374	+16.9%

4. 2027年3月期業績予想

2027年3月期の業績予想

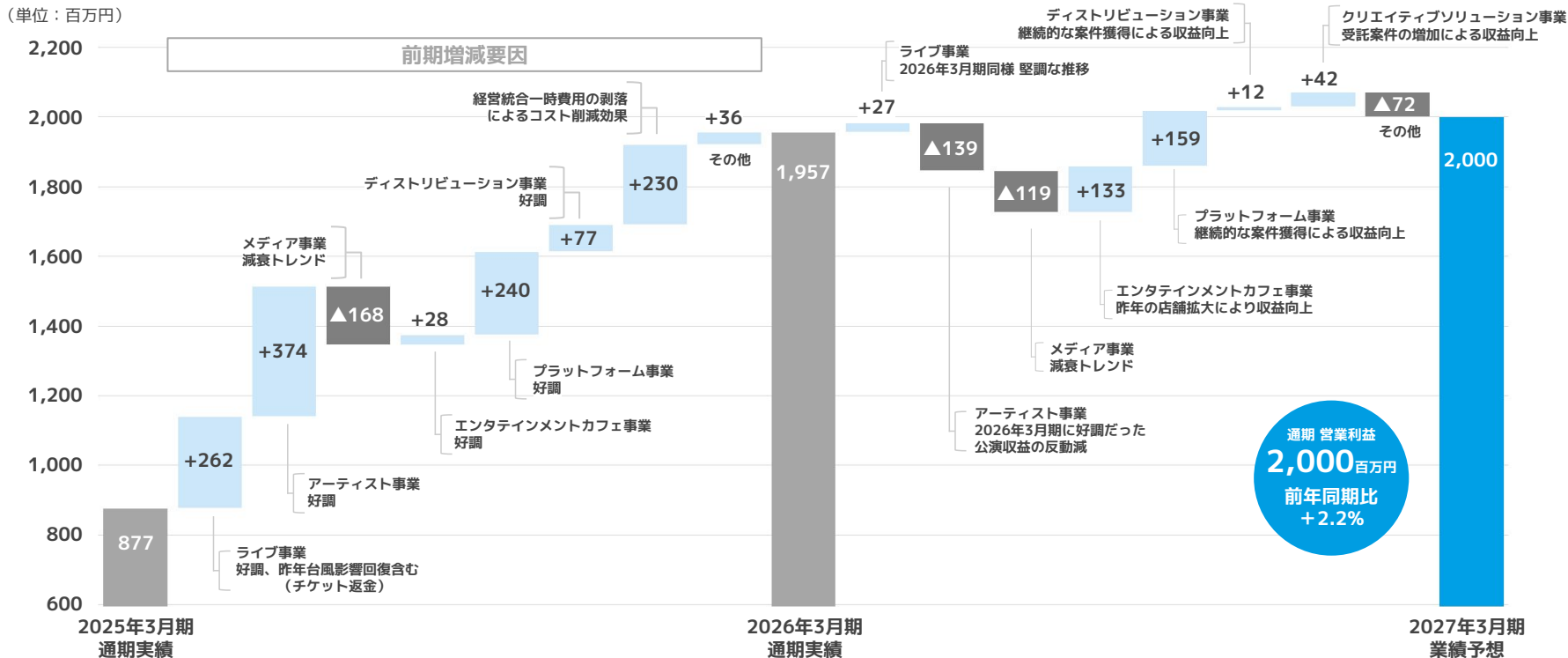
2024年11月13日に公表した中期経営計画「Ignite 2027」の2年目となる来期の業績予想は、全体としては微増となり、売上高23,000百万円、営業利益2,000百万円、経常利益2,050百万円、当期純利益は1,220百万円、1株当たり年間配当金は配当性向40～50%を目標に30円を予定。中東地域をはじめとする地政学的リスクの高まりが当社の業績に与える影響は軽微ではあるが、アーティスト活動のスケジュール変化に伴いコンテンツセグメントの収益が一時的に減少するため、ソリューションセグメントの収益拡大により補完することで、今期同等の実績を見込んでいる。

(単位：百万円)	2026年3月期 通期実績	2027年3月期 業績予想	増減額	増減率
売上高	22,858	23,000	+141	+0.6%
営業利益	1,957	2,000	+42	+2.2%
経常利益	2,004	2,050	+45	+2.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,197	1,220	+22	+1.8%
1株当たり当期純利益	73円14銭	75円73銭	-	-
EBITDA	2,576	2,620	+43	+1.7%
1株当たり年間配当金	25円	30円	5円	-

業績予想の増減要因



ライブ事業は前期同様堅調な推移を見込んでいるが、アーティスト活動の端境期となるアーティスト事業及び減衰トレンドにあるメディア事業で減益見込み。一方で、エンタテインメントカフェ事業は前期の店舗拡大により収益向上が見込まれ、プラットフォーム事業、ディストリビューション事業、クリエイティブソリューション事業についても、継続的な案件獲得により収益向上を見込んでいる。結果として、今期実績の営業利益1,957百万円に対して来期は2,000百万円を予定。



5. 中期経営計画の定量目標改定について

中期経営計画の上方修正について



前回公表した中期経営計画で掲げた2028年3月期の利益目標を今期に前倒しで達成したことを受け、2028年3月期の経営目標を引き上げ。

単位：億円	2028年3月期経営目標 (2024年11月13日公表)	2026年3月期実績	2028年3月期経営目標 (2026年5月14日公表)
売上高	240 億円	228.5 億円	260 億円
営業利益	16 億円	19.5 億円	24 億円
EBITDA	22 億円	25.7 億円	30 億円
ROE	10 %超	14.2 %	15 %超

主要グループ会社の業績目標



中期経営計画期間におけるHD傘下の主要グループ会社の売上高、営業利益、EBITDA目標数値は以下の通り。

株式会社スペースシャワーネットワークは2027年3月期に一度減益となるが、2028年3月期に向けて再び増益を目指し、株式会社SKIYAKIとインフィニア株式会社については、2027年3月期、2028年3月期共に増収・増益を目指す。

※なお、各社の実績は連結消去前の単体数字。

(単位：百万円)	スペースシャワーネットワーク			SKIYAKI			インフィニア		
	2026年 3月期	2027年 3月期	2028年 3月期	2026年 3月期	2027年 3月期	2028年 3月期	2026年 3月期	2027年 3月期	2028年 3月期
売上高	11,323	10,400	11,500	4,074	4,533	4,900	3,713	4,000	4,500
営業利益	975	700	1,000	617	777	852	318	452	550
EBITDA	1,137	857	1,150	661	836	904	437	576	674

株主還元方針

2026年3月期～2028年3月期の中期経営計画期間中は、継続的な増配を行っていくことを最優先とし、連結配当性向35%～45%を目標に累進配当を継続することを基本方針としていたが、2027年3月期と2028年3月期については、自己株式の取得を継続しながら連結配当性向40%～50%を目標に累進配当を継続することで、株主還元の更なる充実を図っていく。

年間配当金

	目標配当性向	中間	期末	合計
2027年3月期（予定）	40%～50%	-	30円	30円
2028年3月期（予定）	40%～50%	-	-	-

自己株式取得進捗

	取得期間	株式数	取得価額総額
2027年3月期（進行中）	2025年12月～ 2026年11月	上限 200,000株	上限 200,000,000円
2028年3月期（予定）	2026年12月～ 2027年11月	上限 200,000株	上限 200,000,000円

※早期に株式数上限に達し、取得価額上限未達の場合、追加の取得枠決議を予定（取得価額総額の達成を重視）

6. 事業トピックス

SWEET LOVE SHOWER

SPACE SHOWER ©
**SWEET
LOVE
SHOWER** 2025
30th ANNIVERSARY

- ✓ 総勢93組の
トップアーティストが出演
- ✓ 全券種SOLD OUT

会場：山梨県 山中湖交流プラザ きらら

30年の歴史ある野外ロックフェス

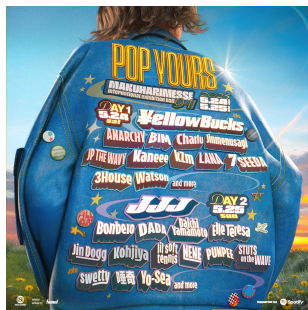
現在継続する音楽フェスティバルでは
国内で最初期に誕生。

8.5万人の来場者

富士山を背景に山中湖畔の
最高のロケーションで開催



POP YOURS



2025年動員数
3.5万人

昨対比
+16.0%

会場：千葉県 幕張メッセ国際展示場

最大級のHIPHOPフェス

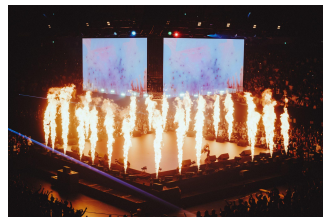
国内で開催されるHIPHOP
フェスティバルでは最大規模。

若年層の圧倒的支持

来場者の約80%が25歳未満のZ世代。

大阪での初開催も実施

初の大阪1day開催で1.5万人動員

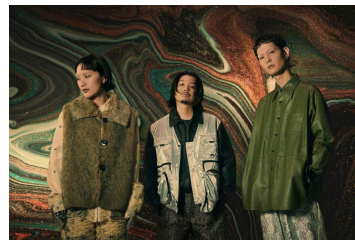


Suchmos



5年8ヶ月振りに活動再開。
6月に行われた横浜アリーナ
2日間(2.4万人)の復活公演に
20万件超のチケット応募。
リリースに伴う国内外ツアー
も敢行。

Tempalay



昨年10月の武道館公演
今年4月の日比谷野外音楽堂
共にチケットソールドアウト
の盛況。

STUTS



楽曲『99 Steps (feat.
Kohjiya & Hana Hope)』が
大塚製薬「ポカリスエット」
の新CMに採用。

ハンバート ハンバート



結成27年目
NHK連続テレビ小説『ばけば
け』の主題歌「笑ったり転ん
だり」にて、第76回NHK紅白
歌合戦に初出場を果たした。

SPACE SHOWER TV

日本最大の音楽専門番組

2024年12月に開局35周年を迎えた
日本国内最大の音楽専門番組

V.I.P.注目アーティストの特集番組

スペースシャワーTVが総力をあげて制作する
重要プログラム「V.I.P.」。
毎月、人気と実力を兼ね備えたトップアーティストを
招き、撮り下ろしオリジナル番組を独占放送。



4月：サザンオールスターズ



5月：[Alexandros]



6月：GRAPEVINE



7月：RIP SLIME



8月：Suchmos



9月：Perfume



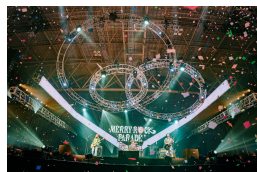
10月：RADWIMPS



11月：マカロニえんぴつ



12月：高橋優



1月：SHISHAMO



2月：くるり



3月：ゆず

あっとほーむカフェ



創業22年

インフィニア株式会社が22年にわたり「オタクカルチャー」を発信し続ける老舗メイドカフェ

全国に13店舗を展開

東京（秋葉原）、大阪（日本橋）、名古屋（大須）エリア

年間来店者数 約88.3万人

来店者のうち、**8万人超**がインバウンド客
8年間で**2倍強**の成長（37万人⇒88万人）

※2026年3月期実績

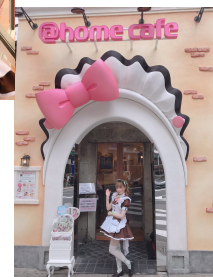
秋葉原本店



AKIBAカルチャーズZONE店



名古屋大須本店



大阪本店

NHK「ドキュメント72時間」

「あっとほーむカフェAKIBAカルチャーズZONE店」がNHKの「ドキュメント72時間」の密着取材を受けました。

総有料会員数170.7万人のプラットフォーム ※2026年3月末時点

Bitfan Pro

カスタム性に優れた ファンクラブ&Eコマースシステム

デザインを中心としたカスタム性に優れた「Bitfan Pro」を提供。
多くのアーティストやクリエイターに採用されている。

Bitfan

必要な機能が全て揃ったオールインワン型の ファンクラブプラットフォーム

誰でも気軽にファンクラブを開設できるプラットフォーム「Bitfan」
を提供。使いやすさと圧倒的な機能数が特徴。

サイト事例



有料会員数

170.7万人

前年同期比 +38.2万人
(+28.8%)

FCサービス数

1,661

前年同期比 +403
(+32.0%)

サイト事例



SPACE SHOWER FUGA

グローバルな音楽配信企業との合併

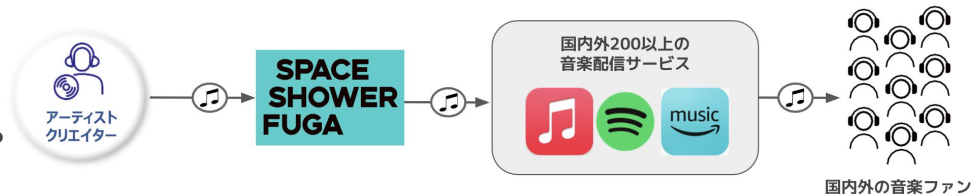
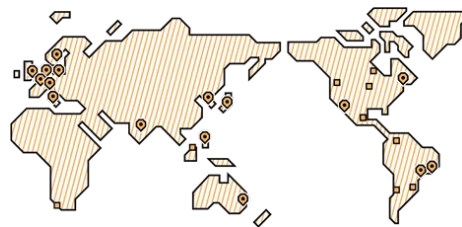
2021年に世界最大の独立系音楽配信企業 FUGA社（本社：オランダ）との合併により、SPACE SHOWER FUGAを設立。

世界25箇所の拠点

世界25箇所のFUGA社のグローバルネットワークを活用。

国内外200以上の音楽配信サービスとの連携

FUGA社との合併により、国内外200以上の音楽配信サービスへの配信が可能に。



FUKUOKA MUSIC FES.2026

FUKUOKA MUSIC FES. 2026

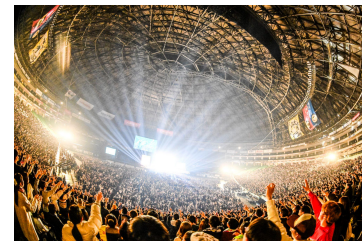
「福岡ソフトバンクホークス」「BEAMS」と共にプロデュースする大型屋内フェスティバル。

開催5回目

- 日時：2026/1/24,25
- 会場：みずほPayPayドーム福岡

約5万人の来場者

今年は過去最高の来場者を記録



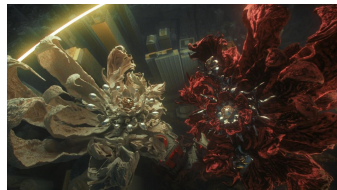
ミュージックビデオ制作

業界トップクラスの実績と知名度

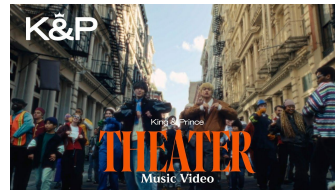
1993年にスペシャTVの制作部門から独立
年間400本近くの幅広い映像コンテンツを制作



ASIAN KUNG-FU
GENERATION
『おかえりジョニー』MV



キタニタツヤ feat.
BABYMETAL
『かすかなはな』MV



King & Prince
『Theater』MV



SUPER EIGHT
『超DOME TOUR 二十祭』
LIVE

- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般的に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示原則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- なお、本資料のいかなる部分も一切の権利は当社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ窓口

ir@sssk-hd.com

SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS